



- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() [] は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	A 普通注記	ページ
項目名 糸 166		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0724.58	ito <edo?>	
0724.95	ito <本郷糸はkanaito>	
0779.03	kana <古>	ito
0789.95	ito 条件古	
0840.33	kana <古 子>	
0861.48	kana <昔>	
	ito <今>	
0873.94	kanaito <古>	ito
0990.97	kanaito <子>	ito
1973.27	か 糸 <年寄か(史)>	イト

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ
項目名 糸 106			(2)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
27 00.48	イト 	
	カト <カ><昔も<使、カ>	
27 31.97	カト 	
27 51.10	イト <共>	
27 54.11	Kana <普通>	ido
27 65.02	Kana <古>	ido
27 65.71	Kana <古>	ido
27 83.06	Kana <古>	ido
27 90.38	Kana <普通>	ido
36 19.08	Kana (本日はカトは木綿子のこと)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	153		
項目名		[B 除いた共通語]	(3)
糸 166		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]		A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
		総符は井 ² -DK 1=11101	
		ito と 言 ³ 4し ¹)	
36 39.49	kana	($\frac{10}{6}$)	ido
37 14.74	nmido	<自今 ² -1 ⁷ , 在 ¹ 9>	
	kana	<買, 在 ¹ 9>	
37 15.59	nmido	<6>	
	kanna	<新>	
37 29.81	カ=ト	(6)	イト-
37 33.88	カ=ト	<6>	イト-
37 37.32	[カ=ト]		イト-

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (4)
項目名 糸 166			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
37 37.75	カニト (買, 瓦木錦糸)	(又イ) イト
37 46.41	カニト (古)	イト
37 52.87	kanna ido idoを縫うようにはしたものが kanna ido だとい。 麻についていっているようだ。	ido
37 56.26	カニト (買, 瓦糸)	イト
37 56.40	カニト (古)	イト
37 64.92	カニト (古)	
	ゴロカト (黒い糸) (古)	イト
37 69.22.	カニト (古, 買, 瓦木錦糸)	メニイト

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ
項目名 糸 106			(5)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	又イト 〈自作ヲ縫糸〉	
3774.44	カント 〈カントイトとも〉	イト
3776.99	カントイト (木綿)	イト
3783.08	Ka~na 	ito Ka~naito
		Kanako
3785.68	カントイト (B)	イト
3795.33	カントイト 	イト
4588.98	eto 〈新〉	Kana
4599.72	etoso 〈アタシ 麻糸〉	Kana

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (6)
項目名 糸 166			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4599.31	naito (一ぬいと?)	
4609.07	ity <新>	kana
4619.29	kanna ido <近年冬季にまいにちがある。>	ido, nomido
4619.63	kanna ido <産語。80才以上の人々には。>	
4628.61	?# kana ido <種類により>	edo
4637.20	kanna (木綿糸) (総称を強いて言えは「ito」である)	
4638.22	kanna <木綿を「か」に「い」>	
4638.43	kanna (これは木綿の縫い糸である。)	
	(nweedo) (総称である。)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > [] () は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (7)
項目名 糸 166			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
46 43.47	kana ito (単独) は新しい語.	
46 44.10	[kana]	kana
46 47.69	kana < 5 > 子供、頃使った語 kanaeto < 5 >	eto
46 54.52	kana (着物を縫)糸は殆ど一本綿糸に限られていたから、木綿糸を示す (kana をもつ糸を呼ぶのであ33.)	
46 63.06	kana [5]	ito
46 63.49	kana 5<は二つあり	ito
46 63.92	kana < 縫いの糸、特に着物を縫う糸 >	ito

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (8)
項目名	153 糸 166		

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4665.87	kana 〈糸〉 muvito 〈糸〉	mwigana
4666.17	ito 被調査者は紡績工場の募集関係の仕事に従事したことがある。	
4667.76	kana (木綿糸の縫糸であることは168の答もkanaであることと明らかである。然し縫糸は木綿糸の代表であるからここには取り扱わない。)	
	eto (木綿、絹、麻糸とを総称した。強いのちの場合の答え。)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は敢密にする。

質問番号	地図番号 153	① 普通注記	ページ (9)
項目名 糸 106		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4672.19	kana kanaは木綿糸	ito
4675.62	mueeto (木綿糸はkana. 絹糸はkimmetoと書く。)	
4687.01	eto (総称) kana (木綿糸)	
4694.95	mureeto mureetoは169 a hatato村	eto
4701.14	mumeto < 絹とはヒモを云ふ >	
4703.18	kana eto < B > < 主に女の人に使ふ。 >	eto
4711.41	mome do (総称にも木綿糸にも用いる。)	
	mucido < 絹 糸 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (10)
	153		
項目名			
糸 106			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
47 11.42	mome to <木綿糸の場合>	ito
47 13.45	kānaeto <主に紺色を(2113)>	ito
47 16.20	kannaido 	nani ito
47 21.36	momedo (木綿糸であると同時に総称 である。)	
47 22.40	nometo <糸の総称>	
47 22.55	kannaedo <絹の物々と絹糸である。>	
47 24.28	kanaedo <絹物を絹と併用するだけ 指す。>	
47 30.86	mometo (絹糸、普通は木綿)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (11)
	(53)		
項目名			
※ 166			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	ito (糸一般。しかし多くは monedo E用いな。)	
4731.42	monedo (Eトは本場糸である。 絹糸と区別する時にも使うが 総称にもなる。)	ido edo
4731.85	monedo (総称にも使う。というは 糸糸は百と一からなるとい こは(絹)糸がある。)	
4735.37	monedo < 什と石は言わない。 石と edo と言はは通る。用 q	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	① 普通注記	ページ
項目名 糸 166		[B 除いた共通語]	(12)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	糸のこを指すこに在る。)	
4736.63	eto <nome toと註)のこに在る。)> (木綿糸)	
4741.43	ito <総称> ↓ waito <反物の糸> nome to <石> ↓	
4742.37	nomedo (木綿糸の糸にも使われるが: !のよりに糸一般の糸とも 総称として使われる。)	
4750.76	ido <糸>	kannd
4753.36	nome to (糸はよ) 木綿糸のこに在る。)<ito ↓	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (13)
	153		
項目名			
糸 16a			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4762.56	kanaeto <本綿+場合在竹>	
4762.99	kanaedo <ぬい糸+場合>	
	edo <糸一般>	
5516.59	eto <新>	kana
5517.90	kana <古>	ito
5537.34	kana <古>	eto
5538.33	kana <古>	ito
5549.55	kanaeto <とくに綿糸>	eto
5556.84	N.R.	
	(一般糸なし。答之は kana 1a 本綿糸 = 163 ことか-1682-たか, 糸)	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ
項目名 糸 166			(184)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5557.48	kana eto <新>	
5564.79	nūiso 纒先	ito
5565.12	[カナ]	イト
5565.19	kana <絹糸> ito <絹糸>	
5566.35	kana <絹糸> ito <麻糸>	
5574.84	nūiso 上品	ito
5584.37	nūiso 優位	ito

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

頁 間 番 号	地 図 番 号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (185)
項 目 名	※ 106		

地 点 番 号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
56 04.52	kana <古> 木綿のぬい糸である。人には通じない。2-知っているか。お(使われ)。	eto
56 08.51	ito (古はほんの少し有聲化する)にも聞えなから do, to と表記できない位である。今は e の e とおかけな。	
56 11.81	kana <kana, 木綿の糸で ito よりもこの方を多く用いる。>	ito
56 20.30	eto <新>	kana.
56 23.85	noeeto (ぬい糸)	eto
56 26.92	nwitosu 木綿の糸	ito, nwiito

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	① 普通注記	ページ
項目名 糸 166		[B] 除いた共通語	(14) ⁶
		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
56 26.99	24イト <新>	2イトス
56 33.45	nuito <ツィナイト>	ito
56 41.99	jorito <木綿のイト>	ito
56 45.43	24イト <巾>	
	2イトノ <糸>	
56 58.01	2イト <普通の言い方>	2イト
56 67.77	nuitosun (木綿の糸の縫糸 木綿糸、縫糸の総称でもある)	
56 68.51	2イトス <一般的な言い方>	イト
56 75.87	イト 普通	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は縦書きにする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (17)
	153		
項目名			
糸 166			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
	ヌイト (縫うから)	
5677. 28	ヌイトス <縫糸のみの語>	
	イト <総称>	
5677. 85	ヌイトス <普通>	イト
5678. 86	ヌイト <針に通した時>	
	イト <普通>	
	<たばになつゝいる糸ーイトソ>	
5679. 31	nüeto (誘)edo	
5679. 86	eto (荒)nüeto	
5687. 59	itoso: (着物を縫うためのもの, 輪になったもの) ito	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ 8
	153		
項目名		[B] 除いた共通語	② (1)
糸 166		[C] 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5687.86	又イト <今でも用いる。手にも種類がある> イトといふ名ではわからぬから> イトヤ <昔の語>	
5689.10	itoso <糸束>	ito
5696.54	nwiso <昔はこちらを使>た>	ito
5697.20	nuiso 特ニ着物をぬぐもの (高島氏の助言による)	ito
5697.53	nwiso <縫>糸ニ用>た>のい>	? ito
5698.19	nwiso <特ニ着物を縫>た>のい>を 強調した時に使>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (149)
	153		
項目名			
※ 106			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	ito <普通言ひ方>	
5698.91	? ito	
5703.68	nwiso (古)	ito
5720.34	aity, it	
	aityの方が多く用いられ、 但、白いとか黒いとかいう 連体修飾語の上にくる場合 は常にitという。	
5720.98	it	aity
5731.67	nwiso	
	<材質にのみかわらぬ>	
5732.17	eto, nwiso	
	<一般的な呼び名はitである>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は散密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記	ページ
	153	(B 除いた共通語)	20
項目名	※ 166	(C 除いた特殊語)	(20)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]		A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
		籠る女に使うものと(てい)とき/お 又イソという。又イソというとき、本編で あると籍である。その質は(同)なる!!>	
5741.66	ido ↓	井戸はido	
5760.24	nwiso	<この方が一般>	ido
5760.57	edo	<一般に>	
	nweso	<籠る女に>	
5770.11	nwedo, nweso	(誘)edo	
5782.94	nwiso	<籠ることか、おかしければこい> etc	
5793.20	nwiso	<この系(い)~とい)場合もある> ido	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	(A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (20)
項目名 糸 106			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
64 11. 66	イト 	イト
64 18. 75	又イト <重と12使>	イト
64 76. 17	イトヤ 	
	イト <ワタイト, トニイト 重の別がある>	
64 84. 43	イトヤ 	イト
	イト イトヤ { 社類をほといれとキに扱 } { 取上げ字を又キヤとい。 }	
64 85. 30	イトヤ 	
	吾れにあげに使、右縁の 太字をいれとキ イ4モニヤ ニモニヤ	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	(A) 普通注記	ページ
項目名		[B] 除いた共通語	
糸 166		[C] 除いた特殊語	(2) 2

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]		A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
		とねんたの高い方が木のた	
		yは字の意呼である。 >	
6485.46	又イy	<着物を縫う>に用いる字である。	
	?又イト		
6486.50	又イト.	又イトは織物に使う字に似たもの。 イト	
6486.93	イトy		イト
6487.43	イト	(カイト モイト)	
6494.55	イトy	<短い糸に用いる。>	イト
6508.06	カイト	<木綿イトとは>	イト

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	① 普通注記	ページ
項目名 糸 166		[B 除いた共通語]	(20 ³)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6509.8/	カチ (綫のよ) 糸枠から けすした糸。>	イト
6513.5/	いと (自家製の糸は、区別して nu'iso と いう。)	
6517.65	ゲンシ (織糸のこ。)	イト, 2イト
6527.22	ny: ito < 糸の糸でなく、紐物をする糸の 意味 >	
	ito < 細い長い糸状のもの(糸)の意味では ito という。従って 針に 対立する糸 とは 糸 ito という。 >	
6528.21.	ito < 針に 対立する ito 糸。 >	ni: ito

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	① 普通注記	ページ
項目名 糸 166		[B 除いた共通語]	(244)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6528.64	ito <針に對しては ito > nwūito <他の色々糸と区別するとき nwūito といふ。 >	
6529.63	ito, tsukeito <針に對しては只 ito といふ方が 多いが、着物を縫うための糸とい う場合は tsukeito の方が多い。 >	
6534.37	ito <糸巻にまいてあるものは糸巻 糸。 > <蒲団用の糸はワタイトと云ふ。 >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > [] は敢密にする。

質問番号	地図番号 153	① 普通注記	ページ
項目名		[B 除いた共通語]	(28) ⁵
糸 166		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6537.21	ito 針に対する語。	
	ny:ito 糸いれに対する語。	
6547.24	ito < 針に対する糸 >	
	tsũkaẽito < 織る糸に対する縫糸 >	
6549.60.	ito < 針に対する糸 >	
	tsũkaïto < 着物を織るの糸(糸)の糸の意味。 >	
6554.45	nuïto < 針に区別する糸 >	ito
6559.22	ito < 針に対する糸 >	
	jerito < 縫い糸 >	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号 153	① 普通注記 ② 除いた共通語 ③ 除いた特殊語	ページ 6 (24)
項目名 ※ 106			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6562.48.	イト 	
6594.67	イト (特にこの場合のイはたかあいて 工との中間に連う。)	
66 13.54	ito <縮称>	
	ioriito <着物を縫う糸の意>	
66 15.02	イカイト <糸>	ヨリイト
66 24.65	itoso 不織の縫糸。	ito
66 26.06	ito <着物を縫う糸の意 [nu:ito]>	
66 30.82.	nu:ito <織糸と区別が必要な時>	ito
66 32.88	itoso 今の子とともなう。	ito

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	① 普通注記・	ページ
項目名 糸 166		[B 除いた共通語]	(247)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
66 34.07	nwi'ito 新	'to so
66 34.32	itoso 経い糸の念珠	
66 35.20	ito 木綿の糸。	
66 35.87	tsukai'ito 古 もめん糸の経い糸	ito
66 36.05	momen'ito 古糸と古一けは言わぬ (二ヶ場合には)	
66 40.34	ito <針1=対してはitoと記。>	
	tsukai'ito <特1=着物を経う糸の意。>	
66 52.77	ito ito といえはもめん糸の糸。	
	momen'ito 糸	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (28)
	153		
項目名			
糸 160			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6662.01	itaso 糸	ito
6662.38	nwuito 木綿の紐い糸	ito
6698.61	tamaito <くわしくう時>	ito
7256.64	マ?	it.
7347.55	? ito	
7401.18	ito (針穴をminisoとい.)	
7403.16	nwuito, ito (子→) = は nwuito と ito to to: e a yori ni u) ことかたうい由)	
7421.38	ito (to: ito) とい、たか、 とよから糸の種類をい.)	nwuito

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕[]は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	① 普通注記	ページ
項目名		[B 除いた共通語]	(289)
* 166		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7430.75	nwito < 縫い物に使うことを特にほめる > ito	
7503.48	。 示すときにい。 >	
↓	ito なお cf 167	
7659.3/	nju:tau < 縫う糸 >	
0257.43	ito' < 新 >	ne:so:
0275.97	ittja (ittju & ittju ei) < 糸 >	
2076.96	nuibu: < ? >	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は敢密にする。

質問番号	地図番号 153	A 普通注記	ページ
項目名 糸 166		(B 除いた共通語)	(1)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
0840.33	ito <今>	kana <古名>
4637.20	kinu-ito (絹糸)	kana (木綿糸) (総称を強いて 言は-itoである)
5508.16	ito <新>	kana.
5546.34	ito <新>	kana
5549.09	ito <新>	kana
5637.86	ito <共通語>	又 it <今で用い 糸に分類の-ito itと言ふ-itoは

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 153	A 普通注記	ページ
項目名 糸 166		(B) 除いた共通語	(2)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
		わからないから)
		イトヤ < $\frac{7}{6}$ 9 語>
5696.68	ito <共>	nuriso
6562.48	イト <新>	イトヤ <あ>
6651.64	ito 新	ito so
7411.61	ito <上>	nwi to